

がんセンター研修医を募集致します

特徴

日本小動物がんセンターは、年間初診数約 1200 件の腫瘍専門病院です。がんセンターでは、小動物臨床に携わる獣医師を対象に研修医制度を設けています。がんセンター研修医は、当センターでの診療を疑似体験できるだけでなく、様々なカンファレンスやセミナーに無料で参加できます。

がんセンター研修医のゴール

- ・ 動物の状況に即した実践的な鑑別診断リストが作成できるようになること
- ・ 各種生検法の長所と短所を理解し、適切な生検法を選択することができるようになること
- ・ 化学療法剤を安全に取り扱うことができるようになること。また、実践的な化学療法の使い方を学ぶこと
- ・ 担癌動物のご家族に対し、適切なインフォームドコンセントを実践できるようになること

定例カンファレンスおよびセミナー（講師敬称略）

- 隔週水曜日：腫瘍内科ラウンド（17:30～18:00）
 - ◇ 指導医：小林哲也（腫瘍内科）、廉澤剛（腫瘍外科）
- 毎週金曜日：がんセンターウィークリー・ラウンド（17:00～18:00）※
 - ◇ 初診症例のオンライン・カンファレンス（約 25 症例/週）
 - ◇ 各症例の検査・診断や治療についてディスカッション
 - ◇ 指導医：小林哲也、廉澤剛、小野晋（画像診断）、賀川由美子（病理学）、山上哲史（病理学）
- CPC：Clinico-Pathological Conference（月 1 回第 2 木曜 20：00～22：00）：診断や治療に悩んだ腫瘍症例を複数の病理医と協議するオンライン・カンファレンス
- 各種定例セミナー（秋頃に複数回）

- 学術交流会（年 1 回）
- 小林哲也担当の Vetscope でのオンライン・レクチャーに招待：年間 4～6 回程度
- がんセンター大忘年会（年 1 回）：小林哲也によるショートレクチャーと忘年会があります
（自由参加）

がんセンター研修医の 1 日の流れ

- 9 時～9 時 30 分：入院症例を介し、オンコロジック・エマージェンシーや化学療法後の副作用の管理法などを学ぶ
- 9 時 30 分～12 時：初診の問診を介し、実践的な鑑別診断のトレーニング
- 12 時～12 時 10 分：ラウンド（午前中の症例の情報共有）
- 12 時 10 分～13 時：昼食
- 13 時～16 時：検査や処置の具体的な方法を学ぶ、化学療法剤の安全な投与方法や薬剤強度の高め方を実症例で学ぶ
- 16 時～18 時 30 分前後：検査結果のご家族への説明時に、検査結果の解釈や臨床応用の考え方を学ぶ。各種ラウンドに参加。

がんセンター研修医の条件

- 協調性があり、学習意欲の高い獣医師（年齢・経験不問）
- 少なくとも 5 回以上、規定の見学を終え、がんセンタースタッフおよび日本小動物医療センター科長の承認を得た獣医師
- 月曜日～金曜日に週 1 回以上の研修に参加可能な獣医師
- 研修医登録に費用は発生しません